

1月21日の株式市場下落の背景について

2008年1月22日

米国景気減速の見通しが強まる中で景気対策に対する市場の評価も低く留まると同時に、米国景気減速の影響が他の国・地域へ波及することが避けられないとの見方(リカップリング論)もあり、世界的な株安の流れとなっています。

＜失望感が上回った米国の景気対策に対する市場の評価＞

先週発表された米国の景気対策については、個人向け戻し減税(所得税の一部を小切手により直接還付する方式)、及び企業向け優遇税制を中心とするものであり、規模は総額1400～1500億ドル程度(対GDP比率、1.0～1.1%)となると見られています。景気対策に対する市場での評価については、規模が市場の期待を上回るものではなく、個人に対する戻し減税では効果が一時的であるとともに、減税額の全額が消費に回るわけではないことなどから、失望感が上回る結果となっています。

＜足許で注目される日銀金融政策＞

今週21～22日には日銀金融政策決定会合が開催されており、通常の金融政策運営に対する議論に加え、2007年10月に改定された「展望レポート」に対する中間評価が実施される見通しです。海外景気減速の見通しが強まり、国内でも住宅投資や個人消費の停滞が長期化しているなかで、これまでの日銀の楽観的な景況判断が修正されるかが注目されます。ユーロ円金利先物市場では2008年央にかけ一定の緩和を織り込んだ価格形成となっており、2年国債利回りも短期金利を下回る水準となるなど、市場の一部では日銀による金融緩和の可能性を織り込み始めています。しかしながら、世界的にも各国・地域の金融当局が金融市場の混乱を受けて金融緩和に動く状況においても、日銀は引き続き利上げ再開のタイミングを図るなど状況認識に関するズレも指摘され、株式市場における日銀の金融政策に対する期待感は必ずしも高くはありません。

＜1月21日の米国市場＞

1月21日の米国市場はお休みでした。

アジアの各株価指数

株価指数	直近値	先週末比	変化率(%)
TOPIX (東証株価指数)	1293.74	-47.76	-3.56
日経平均株価	13325.94	-535.35	-3.86
大証 ヘアレス指数	990.91	-20.56	-2.03
香港 ハンセン指数	23818.86	-1383.01	-5.49
中国 上海総合指数	4914.44	-266.08	-5.14
中国 シンセン総合指数	1448.18	-70.10	-4.62
加権指数(台湾)	8110.20	-74.45	-0.91
韓国 総合株価指数	1683.56	-51.16	-2.95
インド NIFTY指数	5208.80	-496.50	-8.70
ムンバイ SENSEX30種	17605.35	-1408.35	-7.41
シンガポール ST指数	2917.15	-187.10	-6.03
クアラルンプール 総合指数	1408.60	-30.89	-2.15
タイ SET指数	766.53	-23.14	-2.93
ジャカルタ 総合指数	2485.88	-125.25	-4.80
フィリピン 総合指数	3152.30	-16.00	-0.51

出所: Bloomberg

期間: 2008年1月18日～2008年1月21日

ヨーロッパの各株価指数

株価指数	直近値	先週末比	変化率(%)
ダウ ユーロ50種株価指数	3703.05	-292.12	-7.31
FT 100指数	5578.20	-323.50	-5.48
フランス CAC40指数	4744.45	-347.95	-6.83
ドイツ DAX指数	6790.19	-523.98	-7.16
スペイン IBEX35指数	12625.80	-1029.60	-7.54
イタリア S&P/MIB指数	33903.00	-1850.00	-5.17
アムステルダム AEX指数	422.45	-27.63	-6.14
OMX ストックホルム30指数	917.75	-39.88	-4.16
スイス SMI指数	7287.14	-404.84	-5.26

出所: Bloomberg

期間: 2008年1月18日～2008年1月21日

対円レート

通貨	2008/01/21	2008/01/22	変化率(%)
米ドル	106.15	105.75	-0.38%
ユーロ	153.15	152.54	-0.40%

出所: Bloomberg

期間: 2008年1月21日～2008年1月22日(8:30)